

シアトル発のスペシャルティコーヒーショップ 新横浜駅近くの絶好の立地で幅広いお客を集める

タリーズコーヒー 新横浜店

神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-12

店舗面積：132㎡

席数：62席（テラス席を含む）

営業時間：平日7時30分～20時 土日祝日9時～19時

定休日：無休

喫煙室を加熱式たばこ専用喫煙室にして室内にスモーククリアを設置 紙巻きタバコ、加熱式タバコの喫煙者、非喫煙者の全てが満足

■美味しいコーヒーに加えフードやスイーツも豊富

「タリーズコーヒー」は、1992年にシアトルで生まれたスペシャルティコーヒーショップで、日本ではタリーズコーヒー・ジャパン（株）が展開。1997年に1号店をオープンし、現在は北海道から沖縄まで809店舗を数える。JR新横浜駅から徒歩5分の「タリーズコーヒー 新横浜店」は、2002年3月に開業した。

メニューは、看板商品のコーヒーやそのバリエーションだけでなく、フレッシュジュースなどのドリンク、サンドイッチ、ホットドッグ、パスタといったフードメニュー、スイーツなど品揃えが豊富だ。

コーヒーと紅茶の対象商品を購入すると2杯目が150円（税込）になる「One More Coffee & Tea」というサービスも実施。朝は出勤途中で立ち寄る人が多く、店内でコーヒーを飲んだ後、2杯目をテイクアウトしてオフィスへ。その後は打ち合わせ、PCでの作業や読書、食事、スイーツでおやつタイム等々、幅広いニーズに対応している。

■加熱式たばこ専用喫煙室に客席を設置でき席数が増加して チャンスロスが減少

喫煙に関して「タリーズコーヒー」は、もともとは店内喫煙可能なカフェとしてスタートしたが、飲食店での喫煙を嫌う人が増える中、店内禁煙にする店舗が増加。コーヒーとタバコは親和性があるため、喫煙客のために専用の喫煙室を設けて対応する店舗もあった。

2020年4月以降は基本的に店内禁煙とし、喫煙の需要が多い店舗のみ、喫煙室を残し、喫煙室内の客席は廃して紙巻きタバコも加熱式タバコも吸えるようにした。「新横浜店」もその一つで、約4坪の喫煙室をそのまま使用していた。

だが、2024年5月に「新横浜店」を含むエリアの直営店を管轄することになった前田暁人氏は、同店を訪れた際に気付いたことがあった。「一人で来店する方が多い店で、全卓埋まっているのに誰もいない席が多々ありました。荷物を置いて席を確保し、喫煙室でタバコを吸っていらっしゃる方が多くいらしたのです。そのため、入店しても空席がなくて帰られるお客さまもお見受けしました」と。近隣に喫煙可能なカフェや喫煙場所がないため、喫煙客が集中したのであろう。一方で、空席がないためにチャンスロスが生じていた。

こうした状況を見た前田氏は、喫煙室を有効活用する方法を考えた。喫煙室を加熱式たばこ専用喫煙室にすれば、中に客席を設けることができるが、紙巻きタバコが吸えなくなると離反する常連客も増えてしまう。悩んでいる時にエルゴジャパンの喫煙ブース「スモーククリア」の紹介を受けた。「その方法があったのかと思いました。私自身、喫煙するので他の飲食店でスモーククリアを利用した経験があり、優れた機能は存じ上げていたので、すぐに導入を決断しました」

2024年10月に喫煙室を加熱式たばこ専用喫煙室にし、6卓8席を設けて飲食可能にした。そして紙巻きタバコを吸う人のために、同室内に「スモーククリア二人用」を設置。「壁際のちょっと窪んでいた部分にぴったり収まり、店内の内装にも違和感なく馴染む。設置時間も閉店後の1時間ですみ、営業に支障をきたすこともありませんでした」

設置後は喫煙客は同室内に席を取ることが多くなったため、店内の席にゆとりができ、チャンスロスが減って売上がアップ。店内にタバコのニオイや煙が漏れないだけでなく、喫煙室内にいてもニオイや煙を感じることは皆無だ。また喫煙室で紙巻きタバコの喫煙も可能であった時は、缶詰の灰皿の吸い殻を頻繁に捨てなければならず、水を入れていたため濡れた吸い殻のニオイが気になっていた。しかしスモーククリアのニードルは水を使わないので嫌なニオイがなく、タバコ400本までOKなので毎日清掃する必要もなくなり従業員に喜ばれている。

「タリーズコーヒーは経営理念の一つに、“地域社会に根ざしたコミュニティカフェとなる”を掲げています。スモーククリアによるクリア分煙で、地域の喫煙客も非喫煙客もゆっくりくつろげるコミュニティカフェの環境がさらに整い、私も満足しています」と前田氏。

東海道新幹線、JR東日本の在来線、横浜市営地下鉄、私鉄など5路線が乗り入れる新横浜駅から近い「タリーズコーヒー 新横浜店」。周囲は横浜随一のオフィス街で、ホテルや商業施設も多く、横浜アリーナ、横浜ラーメン博物館へも至近距離とあって、ビジネス客、観光客、イベントやスポーツ観戦のお客などで、平日も土日祝日も、終日賑わいを見せている。



タリーズコーヒー・ジャパン(株)
営業本部 直営営業部
東日本カンパニーストア第二グループ
シニアディストリクトマネージャー
前田暁人氏



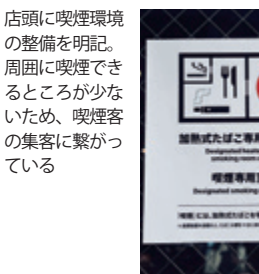
ファサード前にはテラス席も用意。敷地内なので法的には喫煙も可能だが、入店するお客や通行客に配慮して禁煙にしている



落ち着いた雰囲気の内装は、ゆっくりくつろげる空間だ



加熱式たばこ専用喫煙室のドアを開けた正面にスモーククリアを設置し、紙巻きタバコも吸えるようにした。室内の隅に収まり、サイズ面でもデザイン面でも全く違和感がない



店頭で喫煙環境の整備を明記。周囲に喫煙できるところが少ないため、喫煙客の集客に繋がっている



タリーズコーヒーはフードも充実。コーヒータイムだけでなく、ランチタイムや小腹が減った時に食事や軽食も楽しめる

導入の決め手

- 喫煙者が多いエリアで、加熱式タバコ、紙巻きタバコ双方の喫煙者が喫煙できる環境を整えられる。
- 紙巻きタバコの煙もニオイも外部に漏れず、非喫煙者も快適に過ごせる優れた性能。
- お店の雰囲気に馴染むデザインと、2人用でもコンパクトなサイズ。

導入効果

- 喫煙室内に客席を増設でき、空席がないために帰ってしまうというチャンスロスが減少。
- 喫煙客の来店が増え、売上がアップ。
- クリア分煙により喫煙者も非喫煙客も気持ちよく過ごせる。